



R.I. District2610 . ROTARY CLUB OF UOZU

魚津ロータリークラブ 会報誌

2007 - 2008 年度 RI 会長 ウィルフォードJ.ウィルキンソン
魚津 R.C 会長 谷川 文紹

2008年 5月 23日

第 2632回 例会報告

ゲスト並びにビジター紹介 ビジター 大城 宗一 君 (魚津西 R・C) 藤岡 啓一 君 (射水 R・C)

誕生祝 なし

会長挨拶



報告事業として、社会福祉委員会で企画した「魚津市の観光マップ」が完成しました。また過日開催された地区協議会報告を行います。次に親睦活動委員会の「ボーリング大会」開催を予定しています。本日の健康講座は、「養生訓」(300年前からの有名な健康に関する教科書)に記載されている内容が現在の健康ブームにマッチして見直されている。それは長寿社会になって健康志向に誰もが関心を持ってきたからです。具体的には食べ合わせなどの内容です。小生の仕事では「食べ物を噛んでください」これによって唾液の分泌を促し、消化酵素(リゾチウム)が活性化されることにある。これによって黴菌の繁殖を抑えることができる。詳細は次回に話します。また入梅も近く食中毒には注意願います。

幹事報告 東部・西部中学校 社会に学ぶ 14歳の挑戦 事業実施要綱

善意銀行 H20 年度会費納入のお願い
鴨川にもサケを呼ぶ会 20周年記念誌

出席報告 30名 83.33% 第 2630 回 69.44% 72.22%修正

ニコニコボックス

羽田 陸朗 君 3目の孫が誕生しました。
松田 栄明 君 苗木の販売季節が終わりになりかけており なんとなくの気持ちから

委員会報告 地域発展委員会 「魚津市の観光マップ」が完成しました。今後どのように配布するかが検討課題である。

卓話 地区協議会報告 報告者 平崎 暉夫 君



日時 2008年5月11日(日曜日) 場所 富山国際会議場 ホストクラブ 富山中 R・C
出席者 有澤 信次・大城 道雄・大村 雅紹・岡崎 外雄
清水 修三・関口 孝子・武隈 博信・谷川 文紹・辻 英晴
寺崎 明博・根岸 朗・野澤 良成・春田 清・平崎 暉夫・山澤 正和
吉田 直樹・吉森 勝代・若田 勇・若井 貞克(登録のみ)以上 19名

協議内容

2008~09 年度 RI 会長 李 東建 (リドン カン Dong-Kurn Lee ソウル漢江 R・C 所属)
2008~09 年度 RI テーマ 「夢をかたちに」(Make Dreams Real)
強調事項 水、保健と飢餓救済、識字率向上

2008～09年度 第2610地区ガバナー 高柳 功（富山中R・C所属）

2008～09年度 第2610地区目標 ロータリアンよ「心にゆとりを、人々に愛を！」

- 強調事項
1. 職業奉仕を見直そう 職業倫理の再確認
 2. 環境問題に取り組もう 「水」「保健飢餓」・日本の環境問題への取り組みを積極的に
 3. 世界平和を推進しよう 「識字率向上」・国際理解、国際交流の推進
 4. ポリオ撲滅のために努力しよう 1億ドル募金への寄与（一人年2500円×3年間）
 5. 会員増強・拡大に努力しよう 各クラブ純増1名、新クラブ設立

会長・幹事・会計部会

1. RI 会長テーマと強調事項の説明
2. 2610地区目標と強調事項の説明
3. 地区危機管理委員会への理解・・・新世代の安全と健全な生活を守ることが目的
4. 地区組織・行事および報告事項について
5. 地区予算案の認証・・・地区年度予算 16,690,000円

パネルディスカッション

1. 会員拡大増強委員会
A. 「クラブを楽しくし 入会者を心からサポートし クラブ事業を向上させる」ための方策を策定すること。 B. 会員の「増」と「強」の日本柱を太くすること
2. 広報委員会
広報活動によって地域社会にロータリーの存在意義を理解してもらうよう努めること
3. R 情報委員会
新会員を含めロータリアン一人ひとりが、ロータリーの歴史・綱領・四大奉仕部門の活動に関する知識が理解できるように努めること
4. 職業奉仕委員会
職業奉仕はロータリーの根幹であり、職業倫理の欠如がないよう「ロータリーの綱領」「四つのテスト」「職業宣言」の真髄を理解できるようにすること
5. 社会奉仕委員会
A. 地球温暖化に対し何ができるかの方策を策定すること。 B. 水と環境に関する事業などの方策を策定すること
6. インターアクト委員会
校長、教頭、先生、PTA 会長、同窓会長など学校当局へのインターアクトの意義を理解させること
7. 国際青少年交換委員会
青少年に他国の文化・言語に触れる機会を与え、自国の文化や自身の考えを伝え若き親善大使としての役割を担えるようにすること
8. ロータリー財団委員会
年次寄付の50%と恒久基金の利息の50%は、地区活動資金 DDF として3年後には還付されることを理解し、方策を策定すること
9. R 米山記念奨学会委員会
A. 普通寄付は、上半期は7月31日までに、下半期は1月31日までに納付すること。 B. 普通寄付は一人当たり6,000円以上特別寄付との合計で20,000円以上を目標とすること